

【実施報告と計画予定】ねらい:植物へ関心を持ち、愛着を持って世話をする。

・昨年度、チューリップの球根を植え育てていた。そのチューリップが枯れてしまい、クラスでどうするか話し合った。綺麗に咲かせるために、枯れたチューリップへ絵の具を塗ったり、折り紙で作ったチューリップをプランターへ植えた。しかし雨に濡れてしまい、綺麗に育っていかないことに気付いた。

その中でどうしたら花が育ちやすいか、調べ自分たちでプランターを綺麗にした。また時期で育てやすい、花があることに気付くと、園近くの花屋さんに購入に行った。

花それぞれの特性があることをわかり、どうしたら長持ちするのか花屋さんに話を聞き地域交流も行った。

愛着を持ち育てるために、観察し自分の花を描き看板にした。(すべて6月に実施済み)



今後の計画

・園に花壇があることに気づいているので、どうしたら花壇に花を咲かすことができるのかクラスで検討。

→育てるためには土壌改良が必要であり、プランターと違い自分たちの手では行えないので業者へ委託。(10月中旬以降)

・花壇が綺麗になったことで、花をお世話する意欲が湧くと思うので、昨年の経験を活かしながら次年度の年少児のためにチューリップを植える。(1月頃)年度末には芽が出てきていると思うので、一緒に心待ちにしていこう。

→6月の経験を活かし球根を自分たちで購入しにいくことも検討中。

【実施報告(追記)】

・1学期に植えたプランターの花は、夏休みの間に枯れてしまった。植物には季節に応じて適した花があることや、栄養価の高い環境を作るべき、ということを経験しながら感じ始めた。これをきっかけにプランター栽培から、花壇に目を向け始めた。

・園保護者様に土壌改良を検討いただき、まずは職員が指導いただいた。(木下造園さん)

これまでの花壇の柵が朽ちていたこと、室外機の風が植物を直撃していること、オシロイバナが増殖してしまったことなどを受け、冬休みの間に花壇の修繕と土壌改良を行う。

→子どもたちが自分たちの考えや質問を直接投げかける機会を設定していただいた。



①日当たりの重要性

→花壇の形ゆえ、また柵の高さゆえに手前はなかなか陽があたりにくいのでその比較を実験してみる。
どこから早く芽を出すか??

②栄養素について

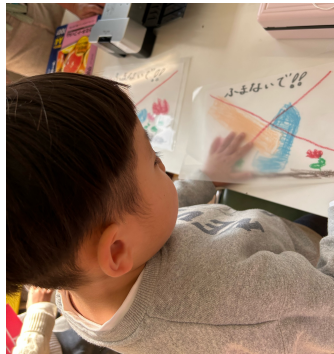
→肥料になるものは、身近にある。落ち葉を揉んで撒くだけで栄養として良い土壌になる。



この2点に絞ってすぐに実践できるように取り組んだ。また、子どもから薔薇を育ててみたいと声が上がったが、小さい子が触ってしまうと危ない棘がある、と教えてもらい断念。

代わりに、いい土になったので球根で花が咲くものを勧めもらった。

- ・チューリップは球根で育つことに加えて、春に咲くことでみんなで楽しみに植えて世話することに決定した。
- ・好きな色のチューリップが咲くのを楽しみにして、毎日自分たちで世話できるよう取り組んでいる。



土や植物だけでなく、看板の必要性を感じて製作！また、芽が出るのが早い場所は、アドバイス通りだった！